2025年度 実務実習ガイドラインに基づいた 昭和薬科大学の基本方針

病院実習の実施内容

実習項目	実習内容	期間	評価
全ての実習項目で 共通事項	○医療人としての心構えを理解する ○医療機関におけるチーム医療の役割を体験し、理 ○薬物療法におけるリーダーシップを発揮できる ○医療安全管理(リスクマネジメント)を理解する	王朔间	ルーブリック
病院実習導入	○病院における薬剤部門の位置づけと業務の流れを理解する ○入院から退院に至るまで入院患者との医療の関れ ○医薬品の供給管理を理解する	りりを理解する 0.5 週間	ルーブリック
処方せんに 基づく調剤	○内服/外用薬調剤 ○注射薬調剤 がん化学療法(プロトコール、レジメン処方監査も含む、無菌調製を含む)、TPNを体験する	2-3 週間	ルーブリック
医薬品管理	○適切な医薬品の供給と管理を実践する	0.5 週間	ルーブリック
臨床薬剤業務の実践*	○疾患と薬物療法○患者情報の把握○医療情報及び医薬品関連情報の活用(情報の収集、吟味、加工)○処方設計・処方解析と薬物療法の実践○薬物療法総合演習	7.5-8.5 週間	薬物療法の実践 ⇒ルーブリック チーム医療 ⇒実習日報

^{*}代表的な8疾患のうち、最低 3疾患は病棟業務の実践で体験実習として学べる環境を整える。